

第2回阿蘇グリーンインフラの貢献度指標検討委員会の概要

1. 日時：令和7年（2025年）12月22日（月）13:00～15:00
2. 会場：熊本県防災センター 303会議室
3. 出席者：別添出席者名簿のとおり
4. 概要：
 - ・開会、若杉課長挨拶、事務局からの委員等紹介。
 - ・次に議事に入り、事務局より資料を説明。その後、委員から質疑や意見等があった。（議事のうち「貢献度評価指標の検討について」の内容は非公開）

5. 主な質疑・意見

嶋田委員：検討の対象について、阿蘇地域は7市町村として定義されているが、この範囲の草原を対象に検討するという考え方で良いか。

事務局：問題ない。

嶋田委員：寄附金は「草原等」の維持活動の費用に充てられるとのことだが、「等」には何が含まれるのか。

事務局：次年度以降は、水田や森林を寄附の対象に含む想定であることから、「等」としている。今年度は、草原を対象に検討を行うため、草原の維持活動の費用に充てられると考えていただいて良い。

嶋田委員：牧野と草原の違い等はどのように取り扱うのか。両方とも草原に含まれるのか。

高橋委員：牧野には、半自然草原や牧草地（人工草地）、クヌギの疎林も含まれるのか。牧野は土地利用の単位ではないか。

事務局：牧草地を検討対象に含むか等については配分検討委員会にて正式に決定する予定である。まずは、牧草地も含めた草原を想定していただくことで良い。

—以上—